

岡富地区まちづくり懇談会 （概要）

日 時	平成 22 年 8 月 3 日 19 時～20 時 40 分
会 場	岡富コミュニティセンター
出席者	39 人
内 容	<p>1. 岡富地区区長会から地区の課題等について説明・提言</p> <p>【亀山会長】</p> <p>①区画整理事業について、10 号線の東側は区画整理されていないため、道路が狭い。また、鉄工団地のところに信号機がなく、通勤する人は、旭有機材工業の前を通過して 10 号線に出るようにしているが、一方通行のところが多く、混雑が激しい。今後の見通しはどうか。</p> <p>②公共下水道がない。以前から都市計画がない（区画整理しない）と下水道ができないといわれているがどうなっているか改めて伺いたい。</p> <p>③恒富地区まちづくり懇談会でも出されたが、東環状線建設について伺いたい。現在、西環状線（大門町を起点として富美山町、大貫町、別府町を通り国道 10 号線につながる都市計画道路）建設が進められており、西環状線が終了したら東環状線と言われているが、大武から鷺島橋を通り、国道 10 号線の昭和町 3 区と川原崎町とつながる東環状線計画はどうか。</p> <p>＜市長＞</p> <p>①川原崎地区の区画整理について</p> <p>現在、岡富、古川地区の区画整理事業を実施しているが予算的になかなか厳しい状況である。川原崎町も過去、区画整理について説明会は開催したことがあると聞いているが、今、実行するとなると難しい状況が出てきている。以前の試算でいくと 1 ha あたり 7 億かかるといわれていたが、今はそれ以上ではないだろうか。今後、区画整理によらないまちづくりの手法についても検討していきたい。区画整理は面的整備と言われているが、線的にまちづくりを考えることも今後の検討課題である。</p> <p>②公共下水道について</p> <p>稲葉崎町、大武町、無鹿町が平成 26 年度に完了予定だった。しかし、国からのお金が補助金から交付金というように予算的にも変わってきたため、完成予定が数年遅れる模様になってきた。他の未整備地区、次の整備計画を作っていく候補としてこれから検討となるが現在整備</p>

中のところも計画が遅れているため次の段階をどう進めていくかが課題である。汚水、雨水両方を考える必要があるが、雨水排水をしっかり考える必要があり、特に大雨、台風の対策を考える必要がある。中の瀬町の排水機場のポンプ能力の増強が今年度から施工され、平成 25 年度までに完了するということであるが、一年でも早く完了できるよう要望している。完成すれば現在 1 t / 秒のポンプ能力が 3 t / 秒増設され、4 t / 秒になり、現在の 4 倍になる。

③東環状線について

現在、西環状線を進めており、大門工区が平成 24 年度に完了後、次は別府工区に取り掛かる。西環状線が完了すれば国道 10 号線から西環状線にかなり車が流れていく。また、現在行われている延岡南道路の無料化実験は来年以降も続く。そのため大きな道路の流れの変化がおき、交通量も減っていくのではないかと思う。西環状線の工事が終わった時点でどれくらいの交通量があるかを見極める必要があると思う。

2. 意見交換

【意見】

(市長のまちづくりの話は) 夢があつていいが先立つもの(財源)が必要だ。財源の今後の見直しはどうなっているのか。

《市長》

現在、行財政改革を進めている。市長就任時、4 年間で 120 人削減を約束してスタートしたが実質 149 人削減した。この数字は県内の市町村のなかではトップである。人件費の削減と 1 人あたりの人件費水準も下げてきた。また、財政面でいえば 1 年間で 15 億円削減し、この財源をもとに新たな取り組みを行ってきた。

【意見】

平成 18 年度から 22 年度までの長期総合計画について、5 年間で実績としてどれくらいのお金をつぎ込んだのか。

《市長》

どの部分を対象にして言うかによるが、市全体の予算が 500 億～550 億円の水準で推移している。4 年間で進んできたもので言えば、例えば雇用。今回、センコービジネスサポート等の誘致による約 500 名の雇用が生まれることになった。これは旭化成を除けば過去最大である。医療問題もドクターヘリの導入や地域医療再生計画などがあげられるが、これらは今後さらに進めていく。

【意見】

後期計画の5年間、みんなの意見を聴いて5年間で実績ができるように計画をやってほしい。

《市長》

今年は市政モニターなど、みなさんの意見を広く聴くよう、広報広聴機能の充実を重点においている。

【意見】

古川地区の都市計画（区画整理）について

岡富地区の進捗状況を教えてほしい。現在、何%進んでいるのか、いくらかかるのか、いつまでかかるのか教えてほしい。

また、市議員の定数改善について以前から要望を出していたが、どうなっているのか。

《市長》

区画整理について、現在、岡富地区と多々良地区を実施している。岡富地区は平成30年度まで、多々良地区は平成25年度までとなっている。岡富地区は市施工で事業費が133億8千万円、多々良地区は組合施工、地権者が主体となっていて事業費は32億円。進捗状況は率でいうと平成22年3月末現在、岡富地区は43.2%、多々良地区は26.8%。

市議の定数の問題は市議会に要望書が出され、市議会で特別委員会を設置して市議会が決定する。来年の選挙から29になる。現在は33。

【意見】

高千穂鉄道の跡地利用について、平成22年度までに結論という話だったが、どのような計画になっているのか方向性を示してほしい。また、望幼稚園のところのガードが低く、救急車が通れない。撤去するか高くするかしてほしい。

《市長》

跡地利用については他の地区でも意見が出る。今年度中には今後の活用をしっかりと検討して決めていこうということになっている。一朝一夕には決められないが、要望を尊重しながら決めていきたい。地域の安全第一で考えるということで、北方（曾木鉄橋）などは流木の問題もあり早めに撤去した経緯もある。個別に区間を区切りながら計画していくが、早めに決めなければならないのは撤去計画である。皆さんの意見を尊重しながら、今年度中に検討し、来年度中に撤去および安全にかかわる分は決めていく。

【意見】

中心市街地の賑わい、特に延岡駅周辺の活性化について、日向駅の

ように高架になるのか具体的に説明してほしい。

《市長》

結論から言うと高架はできない。高架事業の事業主体は県になるが、条件としてどれくらい踏み切りによって交通が遮断されているのが基準となる。延岡の場合、すでにガード下をくぐっている道路が2本あり、駅周辺の踏み切り遮断量は少なく基準を満たさない。となれば国はお金が出せないのでも市単独事業となると、これはなかなか難しいとの結論になる。逆に高架する意味があるのかということになるが、大学教授など専門家によると高架するときれいにはなるが、それがまちの賑わいにつながっているかという疑問であるとの指摘もある。そこで、延岡では駅周辺に賑わいをつくりだすことに特化した事業にしたい。

【意見】

今、新聞を賑わせている大阪の子ども置き去りの事件、延岡でこのような事件が起きたら市長はどう思うか。後継者は次々と延岡を離れて延岡の将来を考えると心配である。

《市長》

児童虐待については日本社会の大問題だと考えている。延岡では起こしたくない。他の痛ましい事件も根っこは同じだと思う。近所づきあいがなく、顔も見たことがないなどコミュニティや人と人の絆が壊れてきているのが今の世の中。そのようなことにならないよう、当市は市民協働のまちづくりを進めている。どういうことかと言うと、例えば市道の草刈りや整備など、地元が整備するのであれば市が材料代を出したり、草刈の補助をするなどやっている。しかし、これはただお金を節約するためだけにやっているのではない。市民協働のまちづくりによって何かが出来たという成果だけでなく、みんなで汗を流したおかげで今まで声をかけたことのなかった人たちが顔見知りになるなど地域の中で人と人の絆を深めることにつながる。

実際、市民協働まちづくりセンターの中ではいろいろな市民団体が軒を並べて交流し、お互いに応援していくようになってきた。

そのようなことを経て延岡では児童虐待などの事件が起こらないようにしたい。

【意見】

行政が知り得た情報を行政だけで処理しようとするとうり取り返しのつかない事件に発展することがある。行政は個人情報保護というが、行政だけでは解決しない。現状を考えてほしい。

《市長》

児童相談所の話もよく出てくるが、県と市がどう連携するかである。行政だけが知っていて地域が知らず、事態が大きくなるのではないかという問題は個人情報保護法のこともあり、デリケートなところがある。何かマズイことが起こっているのであれば、市としては問題を市民の目線にとらえ解決しなければという目的意識を持つことが大事である。そういう意味では職員の意識改革が必要である。